

Doc. No.: NR060601

2006年6月1日

## フラットパネルディスプレイ製造装置の新たな生産拠点を建設 ～第8世代以降のパネル製造装置の品質検証・生産を担う～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のFPD機器カンパニー(社長：矢追 善也)は、当社彦根地区事業所(滋賀県彦根市高宮町480-1)の敷地内に、フラットパネルディスプレイ(以下、FPD)製造装置の新たな生産拠点の建設を決定、2006年11月の操業開始に向け、このたび着工しました。

薄型テレビの本格的な普及を受け、FPD業界では2006年以降、第7、第8世代ガラス基板を使った大型パネルの生産に向けた設備投資が活発化すると予想されています。そのため、FPD製造装置メーカーでは、パネルサイズの大型化に伴ってプラント化する、巨大な製造装置の生産体制の強化が急務となっています。

当社は、このような業界の動向を背景に、FPD製造装置の生産拠点として5棟目となる新工場の建設に着工。主に第8世代対応TFT液晶ディスプレイに対応する塗布現像装置の、品質検証、デモンストレーション、および生産に活用します。幅50メートル、奥行き80メートル、天井高6メートルという規模を持つ広大なクリーンルームには、1ライン当たり2,000平方メートルの生産スペースを必要とする第8世代の製造装置を、同時に2ライン設置できるほか、フレキシブルなレイアウトを可能にする中央部無柱構造により、将来予想される第9世代対応の超大型パネル用製造装置の生産も可能な施設となっています。新工場の完成後は、当社のFPD製造装置の生産スペースは約1.6倍に増強され、豊富な製品ラインアップのさらなる増産体制を確立し、パネルメーカーへのタイムリーな装置供給を実現します。

当社は、今回の新工場の建設により、FPD業界における競争力の強化を図り、業界トップシェアを誇る塗布現像装置をはじめとする多彩な製品群の、さらなるシェアの拡大を目指します。



完成イメージ

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。  
([www.screen.co.jp/press/nr-photo/](http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/))

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

## <新工場の概要>

所在地：滋賀県彦根市高宮町480-1

敷地面積：約8,100平方メートル

(彦根地区事業所の総敷地面積は約14万4,300平方メートル)

建築面積：約6,400平方メートル

延床面積：約6,800平方メートル

構造：鉄骨造平屋建(一部2階建)

総工費：約15億円

着工：2006年5月

操業開始予定：2006年11月

主な業務：FPD製造装置の品質検証、生産など